

記事紹介

△二面△△新春座談会△生きるためにの闘い△三面△△視点△総選挙が示すもの△四面△△三義長△船、会社自ら泥沼へ、偽装ロッカーウトの追打ち△五面△△沖縄への公害工場説致反対、石油基地反対△六面△△獄中通信△同盟

新左翼

1973年

1月5日

第138号
月3回5、15、25日発行
1部50円
1ヶ月150円 半年800円
1ヶ月1500円

発行所
新左翼社

大阪市大淀区本庄川崎町
2-10 トミヤビル
電話 (371) 5304
振替口座 大阪 88555
昭和43年12月12日
第三種郵便物認可



「一番うまいのは人肉さ」太閤角栄 生き血すすってガイゾー、ガイゾー！

あけまして
おめでとうござります

アーテネ書房

札幌市南七条西三

八重洲書房

仙台市中央一十九一六仙台駅前ビル
東京都国分寺市南町二一八一三
国分寺マジンション

アヴァン書房

内山書店

東京都千代田区神田神保町一五一

ウニタ書舗

東京都千代田区神田神保町一五一

コマバ書店

東京都目黒区駒場二一四一五

高野書店

東京都豊島区池袋二一一一八一

模索舎

東京都新宿区新宿二一八一

吉祥寺ウニタ

武藏野市吉祥寺本町二一一〇一七

川崎ルビコン

川崎市川崎区東田町四一九

ルビコン書房

横浜市神奈川区鶴屋町一一八

荒井書店

浦和市仲町一一一九

名古屋ウニタ

名古屋市千種区覚王山通三二六新今池ビル

京都市書院

京都市中京区河原町四条上ル

東方書店

京都市中京区河原町三条上ル

ふたば書房

（「新左翼」販売店一覧①）

新春座談会

生きるための闘いを

どう進める労災職業病公害闘争

日帝の人殺し路線と対決へ

司会 公害労災職業病などが労働者階級にとって重要な課題となつてゐる。この分野で労働者階級をはじめ人民大衆をもつた組織、革命的エネルギーをもつてことができるのか、又この分野の新たな問題にかけを既存のマルクス主義の理論のなかにどのようにくみ入れて行くのか、これは非常に重要な課題となつてゐる。これらの考え方についての闘争をどう評価し、前進するためには何をしたらいいのか、活発な討論をおねがいしたい。

毎年一万人近い死者

数倍の不具廢疾者

既存のマルクス主義理論との関係からすると、大きさには次のようないふ事があると思ふ。マルクスは資本が生産力を停滯させ発達を阻害せる現象を腐敗化と呼んだ。たとえば農耕時代における機械設備・商品・原材料の損傷や破壊、労働者の失業などをあげてゐる。當時それは恐懼という限られた一時期における特異な現象すぎなかった。

レーニンは独裁が必然的に資本主義の腐敗化を招くことを指摘し、帝国主義の特徴の一つにあけてゐる。現在腐敗化は「技術的停滯」とよまるものではなく、製品・原料・機器物などの直接的であり、その影響は普遍的であり、極めて深刻だ。

毎年、労働災害と交通事故死による死者は二万人近く、更に不具廢疾者、何らかの後遺症にならむ人の数はこれの数倍に達する。資本が大量の人命犠牲をもたらす基本的原因として、生産力が発達し、資本蓄積が進むに比例して、労働力価値=人命の価格が低下するところがある。このことは、労働者階級が困らざる建つてようが、自動車にのろうが、自分と家族の生命をけずられるほどのひどい貧困化がはたしてあるだろうか。

既存のマルクス主義理論との関係からすると、大きさには次のようないふ事があると思ふ。マルクスは資本が生産力を停滯させ発達を阻害せる現象を腐敗化と呼んだ。たとえば農耕時代における機械設備・商品・原材料の損傷や破壊、労働者の失業などをあげてゐる。當時それは恐懼という限られた一時期における特異な現象すぎなかった。

レーニンは独裁が必然的に資本主義の腐敗化を招くことを指摘し、帝国主義の特徴の一つにあけてゐる。現在腐敗化は「技術的停滯」とよまるものではなく、製品・原料・機器物などの直接的であり、その影響は普遍的であり、極めて深刻だ。

毎年、労働災害と交通事故死による死者は二万人近く、更に不具廢疾者、何らかの後遺症にならむ人の数はこれの数倍に達する。資本が大量の人命犠牲をもたらす基本的原因として、生産力が発達し、資本蓄積が進むに比例して、労働力価値=人命の価格が低下するところがある。このことは、労働者階級が困らざる建つてようが、自動車にのろうが、自分と家族の生命をけずられるほどのひどい貧困化がはたしてあるだろうか。

戦争状態とかわらぬ

長船会社自ら泥沼へ

偽装ロツクアウトの追打ちで

十一月十五日から四日間、さるに十一月十五日より三日間、さるに十一月十五日より三日間と断続的な波状ロツクアウト攻撃と対決して長船労組は、十月二十八日の長崎地裁「長船労組の入構を実力であつて阻止してはならない」という仮処分決定の勝利に続き、十一月十六日以後、組合の宣伝カー乗入れの処理をみどりかどつた。

この第二次「ロツクアウト」裁判の勝利を武器として、長船組は今後の闘いを「会社をますますドロボウひきむ」と對して十五日より三日間労組拒否する、と再びロックアウトを通告してきた。その理由たるや「十月のロックアウト以後、何ら反省もなく」とだけで、具体的例を指摘することすら出来ていない。

暴力弾圧に抗し千日

光文社闘争は七〇年四月に闘争突入以来、実に千日目を迎えるとしている。

そもそも光文社（「女性自身」「小説世界」「カッパブック」）を発行している出版社、社員五十人（長崎支店（現サンケイ新聞出版局）の億数千万円にものぼる版権）における労働争議は、前もとが会社側は専任横領組といふの非を改めるどころか、親会社である讀書社（「週刊現代」「ヤングレディ」の発行元、社長野間省一、社長代行脇部敏）の指令のもと、遂に組合つぶしをかけてきた。

ます会社側は、悪名高き労働組合と自稱する男（脇井沢の手子）武田義昭なる男（脇井沢の手子）七万円余を盗み当時執行猶予で五十七名もの労組員を解雇したのだ。

組合と自稱する男（武田義昭）をチヤッカあわせ、暴力に屈服しなかった第一組合のうちなんと五十七名もの労組員を解雇したのだ。

援労者とともにガバ活動にとくさん必要な状態だ。

十一月十四日、会社は長船労組に対して十五日より三日間労組拒否する、と再びロックアウトを通告してきた。

その理由たるや「十月のロック

アウト以後、何ら反省もなく」とだけで、具体的例を指摘することすら出来ていない。

長船組は今後の闘いを「会社をますますドロボウひきむ」と

對して十五日より三日間労組拒否する、と再びロックアウトを

通告してきた。

その理由たるや「十月のロック

アウト以後、何ら反省もなく」とだけで、具体的例を指摘することすら出来ていない。

長船組は今後の闘いを「会社をますますドロボウひきむ」と

對して十五日より三日間労組拒否する、と再びロックアウトを

